



株式会社シャルレ 〒654-0192 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
TEL 078-792-7000(代表) <https://www.charle.co.jp/>

株主のみなさまへ 第45期 報告書

2019年4月1日~2020年3月31日

株式会社シャルレ 証券コード 9885



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々と、感染拡大により生活に影響を受けている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社第45期事業年度の報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。

当事業年度におきましては、近年の業績低迷からの脱却を図るべく、2019年4月から2022年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を推進してまいりました。初年度である当事業年度では、シャルレビジネスの魅力向上と商品力の強化を目的に、当社の両翼となる、営業部門およびマーケティング部門の根幹部分である、シャルレビジネスの環境整備、並びに営業体制や商品開発体制の見直しを断行し、事業構造の抜本的な改革に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、当社におきましても営業支援活動の自粛などにより、予断を許さない経営環境が継続しております。また、社会面や経済面など人々の生活の変化が、当社経営環境に与える影響も大きいものと思われま

す。このような中、当社は引き続き事業構造の改革に取り組みつつ、一方で、新型コロナウイルスの感染拡大の終息を見据え、大きく変化するであろう社会環境に柔軟に対応し、今後も当社が、商品やサービスを通じて社会に貢献できるよう、企業基盤の整備を進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましても、引き続き温かいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月
株式会社シャルレ
代表取締役社長兼社長執行役員

泉 幸和良



『わたしたちの誓い』

女性を元気にする日本一のグループへ

わたしたちは
シャルレらしい「もの」
わくわく、笑顔になれる「こと」
生涯を通じていきいきと輝いている「ひと」に
こだわり続けます。

そして、女性と共に生き
地域や社会の発展に貢献していきます。

基本理念

人はみな豊かでなければならない

我々に関係ある人はみな

どうしても豊かでなければならない

通期業績報告

販売事業について

当事業年度におけるわが国経済は、各種政策を背景に企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復で推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延により、国内外の経済活動の停滞が長期化する懸念もあることから、先行き不透明かつ厳しい状況が続いております。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、個人消費は持ち直しの兆しが見え始めておりましたが、消費税増税に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による個人消費の減速懸念など、当社を取り巻く経営環境は、一段と厳しさを増しております。

このような環境のもと、当社は、2019年4月より2022年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を策定および推進し、「シャルレビジネス事業の再生」と「新規事業開発による新たな柱の創造」の2つの基本戦略に基づき、事業改革の促進、業績回復などに向け、シャルレビジネスの環境整備や商品開発体制の見直しなどに積極的に取り組んでまいりました。

商品面について

商品面におきまして、衣料品類では、新定番商品として、スポーツ用のインナーウェアである「スポーツブラジャー・ショーツ」を発売するとともに、数量限定商品として縫い目やテープなどを使用しないインナーウェアである「ハーフトップ・ショーツ（無縫製）」を発売いたしました。また、ブラジャーを対象とした販売促進キャンペーンである「ブラフェスタ（4月～5月）」を実施したことや、消費税増税前および次期事業年度からのメイト会員価格変更前による駆け込み需要が追い風になったことから、ファンデーション類全体の売上高は前事業年度を大幅に上回りました。アウター類では、共に神戸を拠点とするアパレル企業であるワールドグループと共同開発を行い、両社の強みを活かし、心地よさとデザイン性を融合させた「ウールコート」および「ショルダーバッグ（2WAY）」を数量限定にて発売し、販売状況は好調に推移いたしました。しかしながら、「シャルレ ドレス」より、各シーズンに向けたカットソーやパンツなどを発売いたしました。また、発売アイテム数の縮小や発売計画が次期

通期業績報告

事業年度に一部ずれ込んだことに加え、顧客から商品ラインナップやデザインなどに十分な評価が得られず、販売状況が不振となり、アウトター類全体の売上高は前事業年度を大幅に下回りました。生活関連商品類では、前事業年度にリニューアルをした「シャルレウエルネスピロー」が販売不振となり、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。以上のとおり、衣料品類全体の売上高は118億25百万円(前事業年度比5.7%減)と前事業年度を大幅に下回る結果となりました。

化粧品類では、「エタリテ オーラマージュ」シリーズに「モリンガエキス」に加え、海藻から抽出した成分を新たに配合してリニューアル発売を行ったほか、プロモーション用の販促商品も発売し、販売状況は好調に推移いたしました。しかしながら、既存定番商品の販売状況が大幅に落ち込み、化粧品類全体の売上高は23億68百万円(前事業年度比6.8%減)と前事業年度を大幅に下回る結果となりました。

健康食品類では、製茶法(混合発酵)を開発した長崎県の研究機関、長崎県立大学、長崎大学および

九州大学から構成される研究プロジェクトと、お茶の持つ健康成分に着目した当社との間で開発された産官学の共同開発商品である「びわの葉入り まるごと発酵茶」に内臓脂肪を減らす機能が確認されたことから、機能性表示食品として発売いたしました。また、100%手摘みのモリンガの青葉をまるごと配合した「輝く太陽のモリンガ青汁」を新たに発売し、いずれも販売状況が好調に推移したことにより、健康食品類全体の売上高は10億54百万円(前事業年度比8.1%増)となり、前事業年度を大幅に上回る結果となりました。



営業施策面について

営業施策面におきましては、ビジネスメンバーの販売活動の活性化を目的とした「シャルレスマイルプロジェクト2020」において、4月よりメイト会員および一般消費者を対象としたプレゼント企画である「ワクワクキャンペーン(4月～5月)」を実施するとともに、前述の「ブラフェスタ(4月～5月)」を実施いたしました。いずれのキャンペーンにおいても、顧客との接点強化を目的に、新規顧客の獲得に積極的に取り組んでまいりましたが、この期間の新規メイト育成人数は伸長せず、前事業年度を大幅に下回る結果となりました。また、9月より「チャレンジコンテスト2019(9月～11月)」を実施いたしました。消費増税後の消費マインドの低下の影響を受け、ビジネスメンバーの活動が鈍化したことにより、コンテスト入賞者数は伸び悩み、この期間の売上高は前事業年度を下回る結果となりました。

通信販売の「シャルレ ダイレクトサービス」におきましては、新規会員の獲得および既存会員のリピート率の向上を目的とした販促キャンペーンなどを実施いたしました。消費増税後の反動減により、受注件数は伸び悩み、売上高は前事業年度を下回る結果となりました。

新規事業におきましては、当社の第2の柱となる事業を継続的に探索しております。

業績について

これらの結果、当事業年度における当社の売上高は、156億71百万円(前事業年度比5.1%減)となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費は減少したものの、営業利益は2億39百万円(前事業年度比34.3%減)、経常利益は2億73百万円(前事業年度比26.9%減)、当期純利益は営業体制の見直しに伴い、支店を2拠点に統合することによる特別損失(支店閉鎖損失1億10百万円)が発生し、73百万円(前事業年度比67.1%減)となりました。

中期経営計画（2019年4月～2022年3月）

当社は、2019年4月から2022年3月期までの3か年の中期経営計画を策定し、推進しております。
2022年3月期売上高175億円、営業利益4億円以上を経営目標として、当社が目指す将来像の実現に向けて取り組んでおります。

当社が目指す姿

「女性を元気にする日本一のグループ」を目指して

1. 女性の生涯に「美しさと健やかさ」に貢献できる「ものづくり」に徹底してこだわり、独自の販売方法で、より多くの愛用者にお届けします。
2. 国内市場において得た知見や技術を活かして、海外の女性に商品やサービスを展開します。
3. 経営基盤である財務体質の改善に取り組み、資産の収益化により、安定的なステークホルダーへの還元を実現します。
4. シャルレビジネスが築きあげた独自の「文化」や「風土」を守りつつ、時代の変化に合わせ、現代女性の価値観に沿った新たな価値創造企業として社会に貢献します。
5. 従業員が常にチャレンジし続け、自律・協働の精神をもって、いきいきと働ける環境を整えます。

中期経営戦略

シャルレビジネス事業の再生

■シャルレビジネスの環境整備およびプロモーション強化

- ・新ビジネスシステム・ルールによる販売組織の活性化
- ・支店の統合による総合的な営業力を発揮できる支援体制の構築
- ・販売支援に繋がる新たな情報伝達やツールの提供

■ビジネスモデルの特性に応じた商品開発

- ・ビジネスモデルの特性や販売現場のニーズに即した商品開発および提供
- ・組織と業務機能の再編によるマーケティング機能の強化

■収益性向上に向けた取り組み

- ・化粧品・健康食品等の高粗利商材の拡大
- ・在庫処分の抜本的低減

新規事業開発による新たな柱の創造

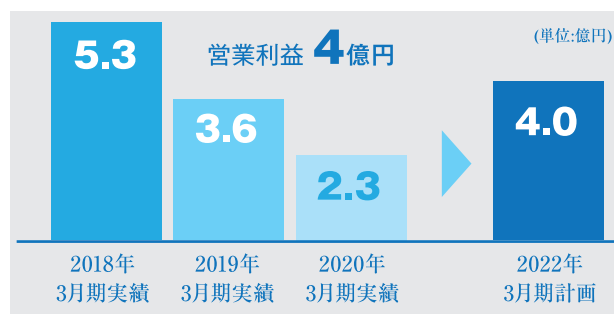
■M&A・提携等による新規事業の展開

- ・国内における第2の柱となる事業の開発
- ・国内における新たな販売ルートの探索および拡大

■海外市場への積極的な展開

- ・中国およびASEAN地域における販売ルートの探索および拡大

中期経営目標（2022年3月期目標）



中期経営戦略の進捗状況

①シャルレビジネス事業の再生

(ア)シャルレビジネスの環境整備およびプロモーション強化

販売組織の育成力や販売力の向上を目的に、次期事業年度からの実行フェーズに向けて、シャルレビジネスの環境整備に取り組んでまいりました。営業拠点を東西2拠点に統合し、総合的な営業力を発揮できる営業支援体制を構築するとともに、ビジネスシステムの見直しや教育体系の整備などを行いました。今後は販売組織の拡大および活性化を推進してまいります。

また、カード決済システムの導入に取り組むとともに、販売組織間の受発注システムの機能向上に取り組んでまいりました。今後は、販売組織における活動の効率化および情報伝達の充実化を図り、プロモーション強化を推進してまいります。

(イ)ビジネスモデルの特性に応じた商品開発

当社のビジネスモデルに相応した商材の開発の強化や現行の商品開発プロセスの見直しなどを図るために、マーケティング機能と商品開発機能に分離・特化した組織改編を行いました。今後は、販売組織の活性化を下支えするマーケティング施策や商品開発の推進を強化してまいります。

(ウ)収益性向上に向けた取り組み

当事業年度においては、高付加価値商品の売上拡大を図るために、化粧品類については、商品リニューアルやプロモーション用商品の発売を行ってまいりましたが、販売状況は前事業年度を下回る結果となりました。これに対し、健康食品類については、一部の商品を機能性表示食品に切り替え、また、新商品の投入を行い、販売状況は前事業年度を上回る結果となりました。今後はプロモーションの強化や商品構成の見直しなどを行い、売上拡大を目指してまいります。

また、在庫ロスについては、当事業年度においては、低減には至りませんでした。今後は抜本的な商品構成の見直しによる在庫ロス削減や在庫高自体の抑制に早急に取り組んでまいります。

② 新規事業開発による新たな柱の創造

(ア)M&A・提携等による新規事業の展開

国内において、当社とのシナジーの高いM&Aや提携等の候補先企業を探索してまいりましたが、当事業年度における契約成立には至りませんでした。今後も対象となる候補先企業の探索を継続してまいります。

また、当社の商材の既存ルート以外の販売ルートを確立するために、市場調査および候補先企業の探索を行ってまいりました。当事業年度の調査および探索結果を踏まえ、次期事業年度より、段階的に展開をしてまいります。

(イ)海外市場への積極的な展開

中国およびASEAN地域における市場展開の基盤づくりを目指し、新たな販売ルートを探索してまいりましたが、当事業年度における販売ルートの確立には至りませんでした。今後も新たな販売ルートの探索を継続してまいります。

私たちが守っているのは シャルレの品質と品位です。



検査室と試験室の開設時期と それぞれの役割を教えてください。

検査室は、1982年に開設されました。お客さまに納得していただける品質を保ち、維持するために、「シャルレ検査株式会社」という検査を専門に行う組織を立ち上げたことが始まりです。

検査室では、シャルレ商品の仕上がり基準を策定した「シャルレ縫製品質検査基準表」を基本に、規定通りに商品が仕上がっているか否かを検査しています。

具体的には、シャルレ商品の縫製方法を細かく記載した「縫製仕様書」通りに、製品が縫製され、仕上げられているかを確認しています。

もちろん、縫製を委託している縫製工場でも出荷前に全品検査をしています。すべてを外部任せにせず、「シャルレの目」

を確認することで、シャルレ品質を守るようにしています。

一方の試験室は1990年、本社移転の際に開設されました。シャルレ商品は、長年ご愛用いただいても、型崩れや色移りなどが比較的少ないことから、お客さまには「品質のシャルレ」と称していただいています。品質のシャルレを守り、維持するためには、着心地、着け心地が良いことはもちろん、洗濯に耐え、汗や摩擦などに対する耐久性を兼ね備えていることも重要です。新商品を開発する際には、品質のシャルレを体現するのに相応しい素材であるか否かを試験室で判断します。ここには、素材の洗濯、汗、色移り、摩擦など、素材の耐性に関する試験を行う設備を備えています。



JISに基づいた試験や、試験から導き出されたデータを読み解くなど、専門知識を駆使し、スタッフが検査を行っています。



納品時の商品の量み方も厳しくチェック。「袋を開けたとき、心地よくご使用いただけるように、量み方も徹底しています。それがシャルレ品質を守ることなのです」。



担当スタッフが、包装された商品を取り出して、検品する様子。「シャルレの目」が養われてくると、ちょっとした誤差も瞬時に見極められるようになっていきます」。

「縫製仕様書」を作成して委託先に 技術指導をすることは珍しいと伺っています。

一般的に「縫製仕様書」は、縫製工場がスタッフへの業務指示書として作成する資料です。シャルレが独自の「縫製仕様書」を作成する理由は、シャルレ商品には何十年ものロングセラーを誇る定番商品があり、何年経っても同じ品質の商品をお届けするために必要不可欠だと考えているからです。

また、新商品の生産が始まる際も、シャルレの社員が同仕様書をもとに、縫製工場のスタッフに技術指導を行います。加えて、仕上がりの際のばらつきを防ぐために、製品の各部位の寸法を記載した「製品規格書」も作成し、これらをもとに委託先への指導を行っています。

検査室のスタッフは、縫い目のズレなど、 ミリ単位の誤差を発見すると伺っています。

新人スタッフは、入社時に商品に関する研修を受けた後、ベテランスタッフに付き実践の場で技能を養います。縫い目のズレ、2本針ステッチが正しく縫われているかなどを判断するには約2年、仕上がりシャルレらしさがあるかを見る「外観品位」を判断する目を養うまでには約3年かかります。毎日、商品に真剣に向き合うことを繰り返しているからこそ、少しの違いが直感的にわかるようになるのですが、この技術と経験が、シャルレ品質を守る力といえます。

検査室には、スタッフが検査をしやすような 工夫も施されているとか。

検査は立って行いますから、検査台は長時間に及ぶ作業でも疲れにくい高さに設定しています。さらに、目を酷使するため、検査台の表面には目に優しい緑色の布地を貼っています。緑色を背景にすると、細部の誤差を見極めやすくなるという効果もあるといわれています。また、商品の色ムラを発見しやすいように、検査室に窓はなく、白色蛍光灯を設置しています。

品質管理課を代表して、 メッセージをお願いします。

販売会社であるにも関わらず縫製仕様書を独自に作成し、試験室と検査室を設置して、徹底的に品質を守り維持するシャルレの姿勢は、繊維業界の中でも有名です。この姿勢があるから、「シャルレ品質」が保たれているのです。委託先からは「シャルレ商品の生産を手がけるようになり、社内の技術が高まった」という声も届いており、大切な協力メーカー様とともに成長することができていると感じます。

また、シャルレ商品は、人と人の絆、皆さまの相手を想う気持ちを添えて、お客さまに届けるものです。これからも、「シャルレ品質」を守るための技術と感性に磨きをかけ、皆さまの期待に応えていくことが、品質管理課の使命と考えています。

健康食品として新商品「輝く太陽のモリンガ青汁」を発売しました。



輝ける毎日に。
栄養たっぷりの新習慣。



「輝く太陽のモリンガ青汁」は、100種類以上の健康・栄養成分を含んだモリンガ葉とみつばち花粉、スピルリナ、これら3つのスーパーフード※1をバランスよく配合。青汁特有の苦味や雑味も少なく、すっきり飲みやすい味に仕上げました。

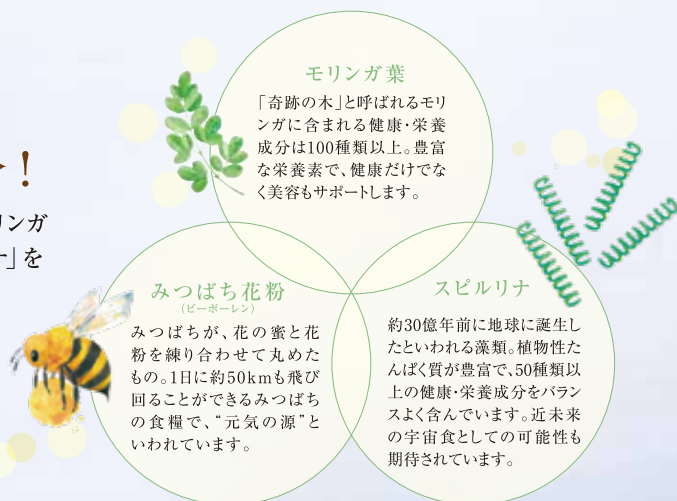


輝く太陽のモリンガ青汁
NS031

※1 スーパーフードとは、栄養バランスに優れ、一般的な食品より栄養価が高い食品のこと。
(一般社団法人 日本スーパーフード協会 ホームページ参照)

注目の3つのスーパーフード※1配合！

「輝く太陽のモリンガ青汁」には、有機栽培し、100%手摘みの元気なモリンガの青葉をまるごと配合しているだけでなく、「みつばち花粉」や「スピルリナ」を配合。自然の恵みを惜しみなく凝縮しています。



シャルレ社会貢献活動

元気な森づくり運動

期間中のシャルレウエルネスシリーズとnsブランドの売上の一部を森林保全活動に役立てます

シャルレ社会貢献活動として2年目となる元気な森づくり運動では、より多くの方と関わられるよう、対象商品に健康食品(ns商品)を追加しました。

期 間 2019年12月1日(日)～2020年3月31日(火)

シャルレウエルネス商品またはns商品を1点購入すると約1㎡の森林を1年間保全する活動につながります。

今回は**302,610㎡**の森林保全活動につながりました。



※一般社団法人フォレストストック協会とは…
日本がいつまでも豊かな森林に恵まれた国であるように、森林保全に取り組んでいる団体です。

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」への支援について

2019年12月以降発生した新型コロナウイルス感染症による影響により、2020年2月3日に横浜港に到着しているクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」では、海上において検疫を行ってまいりました。

当社は状況を確認した後、窓口である株式会社カーニバル・ジャパンに対して支援物資として、タオルをお送りいたしました。



財務諸表の概要

(注)各財務諸表は主要な項目を表示しております。

貸借対照表

科目	当期	前期
	2020年3月31日	2019年3月31日
流動資産	16,833	16,714
現金及び預金	13,041	12,515
売掛金	97	89
商品	3,334	3,821
貯蔵品	60	40
前払費用	70	83
その他	237	174
貸倒引当金	△7	△9
固定資産	5,429	5,507
有形固定資産	2,454	2,740
建物(純額)	1,008	1,047
土地	907	907
その他(純額)	538	617
建設仮勘定	-	168
無形固定資産	772	789
ソフトウェア	762	778
その他	10	11
投資その他の資産	2,202	1,976
投資有価証券	425	434
前払年金費用	972	954
繰延税金資産	448	358
その他	360	235
貸倒引当金	△4	△5
資産合計	22,263	22,221

単位:百万円

科目	当期	前期
	2020年3月31日	2019年3月31日
流動負債	2,179	1,950
買掛金	594	663
未払金	864	817
未払法人税等	192	26
賞与引当金	175	223
その他	352	219
固定負債	682	787
売上割戻引当金	188	189
退職給付引当金	209	250
その他	284	347
負債合計	2,862	2,737
株主資本	19,412	19,497
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	11,046	11,131
自己株式	△131	△131
評価・換算差額等	△12	△13
その他有価証券評価差額金	△12	△13
純資産合計	19,400	19,483
負債純資産合計	22,263	22,221

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上高	15,671	16,510
売上原価	8,387	8,795
売上総利益	7,283	7,715
販売費及び一般管理費	7,044	7,351
営業利益	239	363
営業外収益	40	13
営業外費用	6	3
経常利益	273	373
特別利益	-	2
特別損失	117	0
税引前当期純利益	155	375
法人税、住民税及び事業税	171	47
法人税等調整額	△90	104
当期純利益	73	223

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期
	2019年4月1日～ 2020年3月31日
a 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070
b 投資活動によるキャッシュ・フロー	△327
c 財務活動によるキャッシュ・フロー	△216
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	526
現金及び現金同等物の期首残高	8,515
現金及び現金同等物の期末残高	9,041

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度に比べ5億26百万円増加し、90億41百万円となりました。

a 営業活動によるキャッシュ・フローは、10億70百万円の収入(前年同期比50.8%増)となりました。主な要因は税引前当期純利益1億55百万円、減価償却費及びその他の償却費5億39百万円、たな卸資産の増減額4億66百万円であります。

b 投資活動によるキャッシュ・フローは、3億27百万円の支出(前年同期比92.4%減)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億76百万円、無形固定資産の取得による支出1億89百万円であります。

c 財務活動によるキャッシュ・フローは、2億16百万円の支出(前年同期比21.3%減)となりました。主な要因は、配当金の支払額1億59百万円であります。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要・株式の状況

会社の概要

■ 概要 (2020年3月31日現在)

社名 株式会社シャルレ
 本社所在地 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
 設立 1975年11月19日
 資本金 36億25万円
 事業内容 レディースインナーを主体とする
 衣料品、化粧品、健康食品等の販売
 社員数 277名

■ 役員 (2020年3月31日現在)

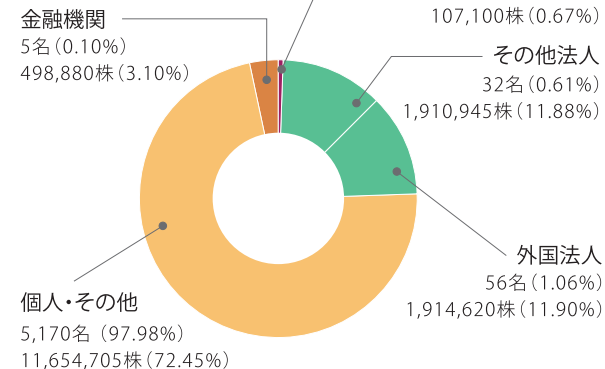
代表取締役社長兼社長執行役員……奥平和良
 取締役兼専務執行役員……………奥田清三
 取締役兼執行役員……………山縣正典
 取締役兼執行役員……………高畑則雄
 取締役兼執行役員……………高田博祐
 取締役……………脇田純一
 取締役……………天野富夫
 監査役(常勤)……………吉田金吾
 監査役……………岸本達司
 監査役……………井出久美

株式の状況

■ 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 84,000,000株
 発行済株式の総数 16,086,250株
 株主数 5,276名

■ 所有者別株式分布状況 (2020年3月31日現在)



(注) 所有者別株式分布状況については、自己株式を「個人・その他」に含めております。

■ 大株主 (2020年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
林 雅晴	1,508,925	9.53
(有) G & L	1,272,432	8.04
瀬崎五葉	1,034,700	6.53
林 勝哉	843,500	5.33
林 宏子	737,699	4.66
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	710,689	4.49
林 達哉	691,000	4.36
林 直樹	618,305	3.90
(有) Lam's	556,150	3.51
INTERACTIVE BROKERS LLC	556,000	3.51

(注) 出資比率は、自己株式(250,408株)を控除して計算しております。

株主メモ・株式に関するお手続きについて

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)
同連絡先	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載。)
公告の方法	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	9885

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

【URL】
<https://www.charle.co.jp/company/outline/governance.html>
 「シャルレホームページ」
 「シャルレホームページ」⇒「株主・投資家のみなさまへ」⇒
 「コーポレートガバナンス」を選択

株式に関するお手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	
インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※) 特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等に お問合せください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	